

TR3 シリーズ RDLOOPCmd 使用時のご注意

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「TR3 シリーズ」において、ご使用条件により下記の症状が発生することが判明しました。使用上のご注意事項をご連絡いたします。なお、ファームウェアをバージョンアップすることで恒久対策となります。

RDLOOPcmd を使用されていない場合、または、ご使用されていても AFI 関係のパラメータを参照していない場合には本症状は発生いたしませんので、ファームウェアのアップデートは必要ありません。

宜しくご査収の程お願い申し上げます。

敬具

記

1. 対象製品

TR3-G001B(ゲート型)を除く TR3 シリーズ リーダライタ全機種

TR3-G001B では本症状は発生いたしません

製品別のファームウェアバージョン

No	対象製品	ファームウェアバージョン	
		現	新
1	TR3-C202 シリーズ	Ver1.02 (1)	Ver1.03
2	TR3-C202 シリーズ以外	Ver1.35 (2)	Ver1.36

(1) 2010 年 12 月 15 日初出荷分以降

(2) 2010 年 10 月 1 日出荷分以降 (Ver1.35 未満では本症状は発生いたしません)

2. 内容

< 症状 >

ISO/IEC15693 用の RDLOOPCmd 使用時、コマンドにセットした AFI 関係のパラメータが有効とならないことがある。

RDLOOPcmd をご使用されていても、AFI 関係のパラメータを参照していなければ本症状は発生いたしません。

< 発生条件 >

動作モード設定のアンチコリジョン処理が「有効」となっている場合に発生する。

アンチコリジョン処理が「無効」となっている場合には、本症状は発生いたしません。

< 原因 >

動作モード設定のアンチコリジョン処理が「有効」となっている場合、コマンドのパラメータではなく、R/W 内部の EEPROM 設定のパラメータを参照して動作していたため。

3. 対策

3-1. 回避方法

R/W 内部の EEPROM 設定のパラメータを参照して動作するため、RDLOOPCmd 実行前に AFI 関係のパラメータを EEPROM に書き込んでおくことで本症状が回避できます。書き込む必要のある AFI 関係の EEPROM 設定は次の 2 つです。

AFI 関係の EEPROM 設定、および、その設定用コマンド

No.	AFI 関係の EEPROM 設定	設定用コマンド
1	AFI 指定の有効/無効の設定	EEPROM 設定値の書き込み
2	AFI 指定値の設定	AFI 指定値の書き込み
	データ	AFI 指定値

3-2. 恒久対策

ファームウェアのバージョンアップ (現) (新)

4. 新ファームウェアの対象製造番号 / 変更時期

対象製造番号(8桁)	「1109xxxx」以降
変更時期	順次ランニングチェンジ

5. ファームウェアのアップデート方法

お客様お手持ちの機器のファームウェアアップデートをご希望される場合には、「ファームウェアバージョンアップツール」を用意しております。「ファームウェアバージョンアップツール」を使用してファームウェアのアップデートを行ってください。

ファームウェアのアップデートは必ず「TR3 シリーズリーダーダライタ ファームウェアバージョンアップツール 使用方法」(別紙)に従い作業を行ってください。

バージョンアップ作業はお客様の責任で実施いただきます。

万が一リーダーダライタが正常に起動できなくなった場合、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

修復させるためには当社に送バック頂く必要があり、有償修理対応となります。

お客様にてアップデートが困難な場合には、送バック方式による有償対応も可能です。詳しくはご購入元までお問い合わせください。

本リリースに関するお問合せ先

タカヤ株式会社 事業開発本部 RF 事業部 営業部 RF 営業課

TEL :03-5449-7045

E-Mail: rfid@takaya.co.jp

以上